

令和4年11月29日

公立大学法人公立鳥取環境大学
理事長 江崎 信芳

令和5年度入学生用ノート型パソコンの機種等及び納入業者を選定するための
提案の募集について（提案募集）

新入生に購入を斡旋するノート型パソコン（以下「学生パソコン」という。）の機種等及び納入業者を選定するための提案を下記のとおり募集する。

記

1. 募集内容

- (1) 件名：令和5年度入学生用ノート型パソコンの機種等及び納入業者を選定するための提案の募集
- (2) 提案内容：本学の提示する各種要件を満たし、学生に費用負担、利用負担の少ない内容であること。
- (3) 導入要件：購入の直接の契約者は学生個人であるが、大学が機種を選定し、購入斡旋する。導入にあたっての打ち合わせや導入後の保守・保険の窓口は本学とし、選定業者と本学の間で学生の個人情報保護に関する契約を締結すること。

2. 参加資格

本件に参加する資格を有する者は、以下の要件を全て満たす者とする。

- (1) 鳥取県又は鳥取市が定める競争入札参加資格を有する者であること。
- (2) 鳥取県内に本店、支店、営業所又はその他の事業所を有する者であること。

3. 質問及び回答

本件の質問及びそれに対する回答は、以下のとおりとする。

- (1) 質問
 - ① 質問期限：令和4年12月13日（火）午後5時まで
 - ② 質問方法：電子メール又はファクシミリで質問書（様式1）を担当者に送信
- (2) 回答
 - ① 回答期限：令和4年12月14日（水）午後5時まで
 - ② 回答方法：本学公式ウェブサイト（<https://www.kankyo-u.ac.jp/>）に掲示
（ただし他の提案者に関係するものがない場合や軽微な質問の場合は、個別回答又は参加希望者全員へメールにての情報共有のみとし、ホームページへの公開は行わない）

4. 参加申込

本件の参加申込みは、以下のとおりとする。

- (1) 申込期限：令和4年12月16日（金）午後5時まで
- (2) 申込方法：持参又は郵送で以下の申込書類を担当者に提出
なお、郵送の場合は「8. 郵送における注意事項」を確認すること。
- (3) 申込書類：

- ① 参加申込書（様式 2）
- ② 鳥取県又は鳥取市が定める競争入札参加資格決定通知書（提案書の提出期限に有効なものの写し）

5. 参加の辞退

参加申込書類提出後に提案を辞退する場合は、以下のとおりとする。

- (1) 辞退期限：提案書の提出期限まで
- (2) 辞退方法：持参で参加辞退届（様式 3）を担当者に提出

6. 提案書の提出

- (1) 提出期限：令和 4 年 1 2 月 1 9 日（月） 午後 5 時まで
- (2) 提出方法：持参又は郵送で以下の必要部数の提案書類を担当者に提出
なお、郵送の場合は「8. 郵送における注意事項」を確認すること。
- (3) 提案書類：
 - ① 提案書（様式 A 4 横、横書き（上綴じ）。極力両面印刷。）
 - ② 記入書（資料 2）※提案機種毎に作成して提出すること。
- (4) 必要部数：印刷物 各 8 部、電子データ 各 1 部

7. 提案内容の審査

提案書を基に本学にて協議を行い、本体の提供価格・保守・サポート体制等を総合的に判断して決定する（プレゼンテーションは実施せず、書類選考のみとする）。

選定の結果については、令和 5 年 1 月中旬頃に書面にて提案者に通知する。

8. 郵送における注意事項

郵送の場合は、書留郵便（親展扱いとすること。）又は民間業者による信書の送達に関する法律（平成 1 4 年法律第 9 9 号）第 2 条第 6 項に規定する一般信書便事業者若しくは同上第 9 項に規定する特定信書便事業者の提供する同上第 2 項に規定する信書便の役務のうち書留郵便に準ずるもの（親展扱いとすること。）によること。なお、期限の前日までに必着すること。

9. 提案書

別に記載する「要求仕様書」を熟読のうえ、以下の内容を含めた提案書とすること（提案書の内容も評価するので、内容に漏れが無いように注意すること）。機種選定の幅を広げるため、可能な限り複数機種（CPU 違い等でも可、タブレット型パソコンでも可）の提案を希望する。

- (1) 提案業者及び保守等関連会社
 - ① 会社概要、大学等への導入実績。
 - ② 環境に関する取り組み。
 - ③ 個人情報保護への取り組み。
 - ④ 営業窓口、購入窓口、保守窓口、保険窓口等が明確にわかる体制図と保守フロー。
- (2) 提案機種
 - ① 特徴（セキュリティ対策等含む）。
 - ② スペック（提案書と別紙：「記入書.xlsx：スペック表」に記入すること）。
 - ③ 品質検査方法。
 - ④ 標準添付ソフトウェア。
 - ⑤ 堅牢性の実現手段。
 - ⑥ 省電力機能の紹介。
 - ⑦ 導入時の注意事項等（パソコンの取り扱い方など）の講習、あるいは導入資料作成の可否。
- (3) 購入（支払い）
 - ① 購入窓口、購入先、購入方法。

- (4) ハードウェア保証 (別紙:「記入書.xlsx:ハードウェア保証-動産保険」、「部位ごとの修理金額-購入金額(目安)」にも記入すること)
- ① ハードウェア保証の範囲を明記すること(本体、付属機器の別。特にACアダプタの給電不備や断線等について保証の範囲かどうかを必ず明記すること)。
 - ② 予定修理日数。
 - ③ 部品ごとの修理金額(液晶、マザーボード、SSD故障等の修理/交換の別、個別の修理金額の提示が困難の場合はその旨を記載すること)。
 - ④ 故障修理対応状況の報告可否(修理受付、返却予定日の管理/報告など)。
 - ⑤ 実績に基づく修理内容や修理金額等(都度もしくは定期的)の提出可否。
 - ⑥ 添付品及びオプション品の保証期間を別紙:“記入書.xlsx:提供価格”に記入すること。
- (5) 動産保険(別紙:「記入書.xlsx:ハードウェア保証-動産保険」にも記入すること)
- ① 保険の詳細(保険会社、保険種別、保険の範囲等がわかる解説資料、約款等併せて全損扱い条件や保険失効条件等)。
 - ② 全損時の扱い(代替機種の提供、保険金の支払いの別)。
 - ③ 予定対応日数(故障修理、全損扱いの別)。
 - ④ 実績に基づく保険適用金額等(都度もしくは定期的)の提出可否。
- (6) リカバリーイメージ作成及び授業配布等(別紙:「記入書.xlsx:リカバリーイメージ作成及び授業配布等」にも記入すること)
- 以下①~⑤の費用(学生パソコン1台あたり(本体の提供価格に含まれる場合はその旨を記載すること))を明記すること。
- ① マスタイメージ作成用機(パソコン)の無償提供可否。可の場合は提供台数、不可の場合は事前購入の可否及び購入可能台数。無償提供又は事前購入のどちらかは可とすること。
 - ② 大学オリジナル設定を施したマスタイメージ作成用機からのリカバリーイメージの作成を行うこと。
 - ③ リカバリーイメージのUSBメモリ(添付品)への複製(必要数)を行うこと。
※以下④の作業をUSBメモリで行わない場合は不要。
 - ④ USBメモリ等からの学生パソコンへのリカバリーイメージ展開(全台)を行うこと。
 - ⑤ 授業での学生パソコン配布対応(納入)(全台)を行うこと。

【令和元年度実績】授業での学生パソコン配布対応。

※ 令和2年度、令和3年度、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、以下作業のうち、多くの作業を大学にて実施し、学生への配布作業は4月初旬のガイダンス時期に実施。

ア リカバリーイメージ展開後の学生パソコンを大学に搬入し梱包等を開きまとめる。梱包等は業者が持ち帰り廃棄。添付品は、キャリングバック等に収める。

(その後、大学にてドメイン登録等の設定実施(1週間程度)。

イ 授業前日に学生パソコン及びキャリングバック等を教室の机の上に設置。

作業時間:4月16日(火):午後3時~午後5時

ウ 授業での学生パソコン配布。

作業時間:4月17日(水):午前8時30分~午後12時30分

※初期不良機器等の対応含む。

※授業の時間及びクラス(部屋)分けは以下のとおり。

1限(午前8時50分~午前10時20分)	27講義室:71名
	29講義室:70名
2限(午前10時30分~午前12時)	27講義室:79名
	29講義室:79名

- (7) 初期不良対応（詳細は「要望事項 ⑥」）参照
 - ① 無償の範囲での対応内容
 - ② 大量の初期不良に対する対応内容
- (8) 補足資料
提案機種のカatalogあるいはそれに準じた仕様・外観等がわかる資料（提案機種の現物もしくは同等の性能の機器がある場合、現物の貸出を行うこと）
- (9) 提供価格（1台あたり）（別紙：“記入書.xlsx：提供価格”にも記入すること）
- (10) その他
 - ① 提案機種自体、保守・保証、サポート等で他社に比べての優位性があれば、記載すること

10. その他の留意事項

- (1) 価格については**全て税込み価格**とすること。
- (2) 提案書の内容について不明点をヒアリング及び修正等を依頼する場合がある。
- (3) 選定後、導入にあたっての詳細な打合せを実施すること。
- (4) 提案者は、本学の提示した資料及び個別の問合せにおいて知り得た情報を、本学への提案以外に用いないこと。
- (5) 本学は提案書の内容を本件に関する用途以外には利用しない。

以上

【問合せ先】

〒689-1111 鳥取市若葉台北一丁目1番1号
公立大学法人公立鳥取環境大学 図書情報課
担当者：坂口
電話番号：0857-38-6730
ファクシミリ番号：0857-38-6734
電子メールアドレス：net@kankyo-u.ac.jp

要求仕様書

【前提条件】

公立鳥取環境大学（以下「大学」という。）では全学生に対し情報リテラシー教育を施すため、入学生全員に対して大学が指定した機種を購入を斡旋し、且つ大学が Microsoft 社等と教育機関向け総合契約を締結することで、OS のアップデートと各種ソフトウェア（Microsoft Office、ウィルス対策ソフトウェア等）のライセンス提供を行っている。

学生は在学中に、大学のみならず自宅でも課題作成やウェブ等による情報収集、メールによる課題提出やコミュニケーション等、大学生活の様々な場面において、ほぼ毎日パソコンを利用している。また、講義室間での移動や自転車等による通学などの持ち運びを含めると、使用環境はかなり過酷なものとなっている。

従って故障率の低さも重要であるが、故障発生時に金銭的及び修理期間等において負担の少ない機種及び保守サポートの導入が必須である。

なお、学生パソコンの不具合発生時は、大学職員等で組織する学内サポート窓口にてソフトウェア及びハードウェアの問題を初期切り分けし、修理期間内は大学が別に購入する同一機種等の故障代替機を学生に無償貸出しを行っている。

【基本要件】

<ハードウェアの仕様>

- ① CPU は、令和 4 年度導入機と同等程度以上であること。同一機種で性能の異なる CPU がある場合は可能な範囲で CPU 違いでの提案を行うこと。またメモリを 16GB 以上に変更した機器の提供が可能な場合は、8GB 以上及び 16GB 以上の複数の提案を行うこと。
(令和 4 年度導入機のスペックは“付録 B”参照。)
- ② メモリは 8GB 以上であること。
- ③ ディスク装置は SSD(Solid State Drive)の 256GB 以上であること。
(1GB の算出根拠を明記すること。例：1GB=1,024MB 等)
- ④ 重量は付属機器（バッテリー、AC アダプタ等）を含め 1.5kg 以下であること。内蔵型光学ドライブを搭載している場合は、上記に重量を含めること。
- ⑤ 液晶は TFT 相当の明瞭度のカラーディスプレイであること。液晶サイズは 13.3 インチ以上、解像度は 1,920×1,080 以上であること。本体は、A4 ファイルサイズ以下であること。
- ⑥ オプティカルドライブは、オプション品でも可とする。つまり、オプティカルドライブは搭載されていなくても良い。そのためオプション品の場合、本体の提供価格に含めずオプション品価格として提示すること。内蔵の場合は、着脱可否を明記すること。最低 DVD±RW 書き込みができる機器とすること。
- ⑦ 外部ディスプレイ接続用端子として HDMI を有すること。HDMI 端子を有さない場合は、外付け（USB 接続等）を添付することでもよい。
- ⑧ オンライン授業用に内蔵カメラ、内蔵スピーカーを搭載すること。
- ⑨ 10/100Base-TX/1000Base-T 以上のネットワークインターフェイスを有すること。外付け（USB 等）ネットワークインターフェイスを添付する場合も可とする。
- ⑩ 内蔵無線 LAN を有すること。802.11ac 以上に対応すること。
- ⑪ USB3.0 ポートを最低 2 ポート以上有すること。ポート数を明記すること。USB 給電 AC アダプタ及び要求仕様の実現を満たすための外付け USB 接続機器（例：USB 型マウス、USB 型 HDMI 出力端子等）を用いる場合、それらを接続して且つ 1 ポート以上の空きを有すること。
- ⑫ SD メモリカードスロット又はマイクロ SD メモリカードスロットを有すること。
- ⑬ 搭載バッテリーで JEITA1.0 規格 10 時間以上稼動すること。
- ⑭ 初期化用リカバリーイメージを保存する USB メモリから直接起動できること。
- ⑮ USB3.0 以上のメモリ（64GB 以上）を添付すること。なお、リカバリーイメージの展開に、この USB メモリを使用することも可とする。

- ⑩ 青色 LED マウスを添付すること。(上記⑨と関連し、空きポートの確保に留意すること。)
 - ⑪ キーボードを有すること。添付でも可とする。(上記⑨と関連し、空きポートの確保に留意すること。)
 - ⑫ 故障対策の為、キャリングバックを添付すること。キャリングバックは、その他の添付品が全て収納できること。キャリングバックは軽量小型でインナーバックとしても使えるものが望ましい。(現時点での候補を提案に含めること。)
 - ⑬ その他、マイク付きステレオイヤホン (Web 会議等に耐えうる安価で性能の高いもの) の同時注文 (任意) を考えているので、価格提示すること (令和 4 年度 2,000 円)。
- ※ 故障への備え及び利便性の高い構造の物を複数提案すること。但し、複数提案が直接選定には影響しない。詳細は、機種選定後に改めて調整する。

<ソフトウェアの仕様>

- ① 「Windows 11 Pro 64bit」に対応した機種であること。プレインストール OS が「Windows 11 Pro 64bit」以外の場合は Pro 用のドライバ等の対応を確認のうえ、リカバリーイメージ作成用に加工したマスタイメージを提供すること。(大学が契約するキャンパスアグリーメントにより OS をアップグレードすることが可能であるが、必ず Windows ライセンスの提供が必要である。なお、Pro に対応した機器を最終的には「Windows 11 Education」に切り替えて利用する。)
- ② プレインストール (標準添付) ソフトウェアのうち写真及び音楽再生や動画再生等のソフトウェアは、そのソフトウェアをインストールしたリカバリーイメージを作成して展開を行えるかたち (※) で提供すること。
(※) プロビジョニング済みアプリ等。

<環境への配慮>

- ① 「資源有効利用促進法」に準拠し、リサイクル可能な商品であること (購入金額にリサイクル料が含まれていること)。
- ② グリーン購入法、PC グリーンラベル制度、国際エネルギースタープログラム等、提案の機種が環境に配慮された商品である場合は、具体的にその内容を明記すること。

<故障対応、保守・サポートサービス>

- ① ハードウェア保証は、原則 4 年とし、購入金額に費用を含めること。AC アダプタの断線以外の故障も含まれることが望ましいが、保証に含まれない場合は、故障時の対応方法について明記すること。またバッテリーの扱いについても明記すること。
- ② 上記ハードウェア保証外の故障・盗難等に備え動産保険等を原則 4 年間付与し、購入金額に費用を含めること。ハードウェア保証の適用範囲が広く破損や盗難等不慮の事故に対応できる場合は、特別な動産保険等は無くても構わない。
- ③ 学生が保有する機器の製造番号を適切に管理し、本学に提出すること。
- ④ 故障発生時に本学に無償で集配荷が可能であること。故障代替機の貸出を本学が実施しているため、原則として集配荷は、本学中継とする。但し、長期休暇中等は、その限りではないため本学を中継しない場合の集配荷の可否と費用も提示すること。
- ⑤ 予期せぬ事象の発生時には、本学との迅速な打ち合わせ等が可能であること。

【要望事項】

- ① ハードウェア保証と動産保険は、水損・破損・盗難等の不慮の事故が発生した場合も学生の金銭的負担が極力少なくなるよう、メーカー及び保険会社と事前に十分協議を行なうこと。4 年目の故障等でも、対応範囲が極力広いことが望ましい。
- ② ハードウェア保証と動産保険 4 年の他、2 年又は 3 年保証の提供可否又はその購入金額についても提示すること。(教職員や在学生等 (3 年次編入学生、大学院生含む) への購入案内を実施することも予定しているため)。
また、大学が故障代替機として同一機種を購入する予定であるため、大学が購入する場合も学

- 生が購入する場合と同条件（金額含む）とすること。
- ③ ハードウェア保証と動産保険を組み合わせた際の評価軸をそろえるために可能な範囲で以下の3パターンの費用を提示すること。
 - a) 推奨（最適と考える提案）
 - b) 販売価格の10%程度の費用で提供できるもの
 - c) 盗難保証が無いもの
 - ④ メーカー出荷時の状態に戻すためのリカバリーイメージを作成すること。（リカバリーイメージの提供は、ディスク内に保存されるリカバリーパーティション又はDVD、USBメモリ等、どのようなかたちでも可とする。）

※ ディスク内にリカバリーイメージが保存される場合は、Windowsが利用できる空き容量が200GB以上であること。
 - ⑤ 大学オリジナル設定を施したリカバリーイメージの作成及びUSBメモリの複製（リカバリーイメージの展開にUSBメモリを使用する場合）、学生パソコンへのリカバリーイメージの展開、授業での学生パソコンの配布対応をすること。また、その費用（学生パソコン1台あたり）を提示すること。大学オリジナル設定を施したイメージ作成用に、1月下旬以降からマスタイメージ作成用機器の提供が必要となる。マスタイメージ作成用機器の無償提供可否と台数を提示すること。提供不可の場合は大学が事前の予備機購入にて対応する予定にしている。同一条件での事前購入の可否を提示すること。無償提供又は事前購入のどちらかは可とすること。
 - ⑥ パソコン納品後の初期不良に備え無償の範囲で可能な初期不良対策を提案に含めること。保守要員の派遣が可能であれば、派遣可能なサイクル及び時間（例：毎日〇時～〇時、週〇回、隔週等）と継続可能な期間（例：導入後、〇〇ヶ月等）について明示すること。

※ 初期不良時以外に原因が同一と思われる不良が大量に発見された場合の切り分け、対処方法について提案に含めること。

【留意点】

- ① 入学者全員に学校指定機種を購入を推奨することにしてはいるが、入学者が確定するのは入学手続き期限の令和5年3月27日（月）以降となる。なお、学部定員は目安であり、実際の入学者数及びパソコン購入者数は増減する。

2021（令和3）年度入学生から学部定員は300名となっている。入学者は編入生含む。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
学部定員	276名	276名	276名	300名	300名
入学者	291名	299名	308名	318名	323名
購入者	282名	292名	296名	297名	304名
予備機台数	13台	14台	15台	16台	19台
1台あたりの 購入金額 (税込)	143,000円	134,500円	134,000円	135,000円	134,000円

※令和5年度購入台数及び購入金額等を確約するものではない。

※入学者数の5%程度の台数を予備機として購入。但し、各年度の予算等の諸事情により台数の変更あり。

- ② 大学の故障代替機を購入や教職員や在学生等の購入のために、時期が後になった際の同一機種販売可否について検討しておくこと。
- ③ 納品（授業での学生パソコン配布）期限は、令和5年4月初旬を予定している。この期限までに、環境を整備して必要台数を添付品含めて納品可能なこと（新入生以外への購入に対する納入期限は、別途相談し決定する）。
- ④ 添付品、オプション品についての詳細は、業者選定後に別途協議を行う。現時点で提案可能な

資料があれば併せて提案すること。

- ⑤ 添付品の価格は、キャリングバックを除き、本体の提供価格に含めること。オプション品は、購入者に購入するかどうかを個別に選択させるため提供価格に含めないこと。

付録A：予定スケジュール

日程	作業内容
～令和4年12月20日	募集期間
令和4年12月下旬	本学専門部会による業者選定（書類選考）
令和5年1月中旬	提案業者への結果通知
令和5年1月中旬～	選定業者との各種打ち合わせ、購入手続き準備 （導入スケジュール、諸手続き方法等）
令和5年1月下旬～	マスタイメージ作成用機器の貸出（又は購入）
令和5年2月～3月下旬	各入試の合格者に対し、学生パソコン購入案内の送付
令和5年2月～3月下旬	大学によるマスタ機作成 （マスタイメージ作成用機器の貸出等が必要）
令和5年3月27日	購入申込締切（追加合格等で延びる場合がある）
令和5年4月初旬	注文台数確定
令和5年4月初旬～	学生パソコン配布準備、
令和5年4月初旬	授業での新入生への学生パソコンの配布（納品）

付録B：令和4年度学生パソコンのスペック

項目	スペック
機種	FUJITSU LIFEBOOK UH（キャンパスモデル）
CPU	Core i5-1135G7
メインメモリ	8GB（空スロット×0）
ディスク装置	256GB SSD（M.2）
LCD	13.3型ワイド（16:9） FHD（1,920×1,080ドット）
ビデオメモリ	メインメモリと共用
ODD	無
Network I/F	10BASE-T/00BASE-TX/000BASE-T 内蔵
無線 LAN 等	IEEE802.11 a/b/g/n/ax 対応内蔵、Bluetooth
外部 I/F	USB 3.2（Gen2）Type-C×2（USB Power Delivery 対応、DisplayPort Alt Mode 対応）、SD カードスロット×1、HDMI×1、Web カメラ
重量	約 728g（本体のみ）、約 948g（本体+AC アダプタ）
バッテリー駆動時間	約 11 時間

注：付加的な機能は記載していない。

以上